

おまえざき



市議会だより



第41号

2014.10.11.12月

平成27年2月発行



- 1 議長あいさつ
- 2 12月議会定例会
- 3 本会議質疑・委員会質疑
- 4 委員会報告・一般質問
- 5 議員視察研修



猫塚・ねずみ塚

昔、御前崎に遍照院という寺があり、住職が難破した船から流れてきたネズミを助け、寺で飼うことにした。10年の月日が流れた頃、寺に旅僧に化けた大鼠が宿を求めて来た。3日目の夜、本堂の屋根裏で格闘する大きな音がし、住職が覗いてみると、寺の飼い猫と隣家の猫が倒れしており、そばには旅僧に化けた大鼠が死んでいた。住職を食い殺そうとした大鼠のたぐらみに気づいた猫が、住職の危難を救つたのである。住職は4匹の猫を葬り、塚を建てた。これが猫塚である。(御前崎地区 駒形神社南)

一方の大鼠は、海に捨てことになったが、運びきれずに海岸近くに打ち捨てられた。すると、住職の夢枕に現れ、改心して海上の安全と大漁を約束したため、大鼠の塚を建ててやった。これがねずみ塚である。(御前崎地区 ネズミ塚広場)

市議会としても、平成27年度は第1次総合計画の最終年度となります。将来を見据え市民が安心して生活できるまちづくりに積極的に取り組み、市民の皆様のご期待に沿える市議会となるよう一層の努力をしてまいります。

市議会としても、平成27年度は第1次総合計画の最終年度となります。将来を見据え市民が安心して生活できるまちづくりに積極的に取り組み、市民の皆様のご期待に沿える市議会となるよう一層の努力をしてまいります。

市議会としても、平成27年度は第1次総合計画の最終年度となります。将来を見据え市民が安心して生活できるまちづくりに積極的に取り組み、市民の皆様のご期待に沿える市議会となるよう一層の努力をしてまいります。

新年あけましておめでとうございます。

皆様方には、輝かしい新春をご家族お揃いで健やかにお迎えのことと心よりお慶び申し上げます。また議会に対し、日頃より深いご理解とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

昨年を振り返りますと、全国各地で猛威をふるった台風、豪雨による広島の土砂災害や突然の御嶽山の噴火など自然災害が多発し、尊い人命が失われました。

年末には衆議院解散総選挙がおこなわれ、日本経済再生に向けた安倍ミクス続行による景気回復の是非などを問う選挙となりました。

地方では中小企業などまだ回復の実感が伴わない状況であります。が、地方創生こそ地方を元気に、人口減少社会に向けた政策として期待されております。

御前崎市においても少子高齢化による人口減少社会が進みつつあり、将来を担う子供たちの子育て教育環境、医療サービスの充実や市内産業の活性化など喫緊の政策課題が山積しております。

昨年4月には「道の駅、風のマルシェ」が、7月には「渚の交番」がそれぞれオープンいたしました。新たな6次産業の創出や情報発信による観光誘客など活力ある産業振興に成果が達成できるよう努力しております。

浜岡原子力発電所では、福島第一の事故の教訓を反映した津波対策や新規制基準に対応した安全性向上対策工事が実施されております。

昨年の11月17日には原子力規制委員会による審査内容を踏まえ、これまでの計画工期より1年程度見込んだ工期の延長が公表されました。更なる安全性達成に向けて新たな対策工事に取り組んでおります。



議長 西島昌和